

大阪市立

鳴野 小学校

〒536-0014 城東区鳴野西4丁目11-48 (06)6961-4313 (06)6961-4569 校長名 崎本 靖朋



- 概要 本年、創立90周年を迎えます。地域の皆さまの熱い思いが詰まった、緑豊かな学校です。隣の鳴野グラウンドとともに、地域のコミュニティーセンターとしての役割も果たしています。
教育目標 校訓「こころのふるさと のびゆく鳴野」 / 教育目標「自分を大切に 他の人も大切に」
沿革 昭和8年鳴野尋常小学校として開校。昭和55年現在の校舎に移転。

運営に関する計画（中期目標）

【安全・安心な教育の推進】

- 1 小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、90%以上を維持する。
2 令和7年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を令和3年度より減少させる。
3 令和7年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善割合を令和3年度より増加させる。
4 令和7年度の学校アンケートで「自分にはよいところがある」の項目で最も肯定的な「そう思う」の割合を令和3年度より向上させる。
5 令和7年度の学校アンケートで「あいさつをしっかりとっている」の項目で、最も肯定的な「そう思う」の割合を令和3年度より向上させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 1 令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を50%以上にする。
2 令和7年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も令和3年度より1ポイント向上させる。
3 令和7年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
4 令和7年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
5 令和7年度の学校アンケートで「すすんで勉強している」の項目で「そう思う」という最も肯定的な割合を、65%以上を維持する。
6 令和7年度の学校アンケートの「食に関する興味関心」の項目で、最も肯定的な「そう思う」の割合を、65%以上を維持する。
7 令和7年度の学校アンケートの「早ね・早起きをしようとしている」で最も肯定的な「そう思う」の割合を、50%以上を維持する。

【学びを支える教育環境の充実】

- 1 デジタル教材を活用した授業を週1回実施する。
2 令和7年度の小学校学力経年調査における「正しいキーワードを入力して、知りたいことをインターネットで調べることができますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
3 令和7年度の小学校学力経年調査における「コンピュータを使って、写真や図を用いたスライドを作ることができますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。
4 ゆとりの日を週に1回設定し実施する。
5 令和7年度までに年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を70%以上にする。
6 令和7年度までに「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を50%以上にする。

全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

【令和4年度調査結果の概要】

本校平均正答率 国語、算数、理科の調査対象教科において、全国および、大阪市平均を上回っている。

Table with 3 columns: 国語 (73%), 算数 (69%), 理科 (69%)

【これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題】

学力向上に向けて、日常的な指導とともに、体験的な活動や交流活動を取り入れることにより、成果を上げてきた。今後も学びの充実感が味わえるよう取り組みを進めていく。高学年において、理科や英語、家庭科等で専科制の指導を行っている。また教科、単元により一部教科担任制や習熟度別少人数指導も行い、きめ細かな指導を行った結果、「わからない」「できない」という児童は減少した。今後も、教職員研修の充実等により、指導力を向上させて、指導の工夫やきめ細かな指導を行い、基礎基本の定着を図るとともに、応用力を問われる問題に対応できるようにする。

小学校紹介

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状

【令和4年度調査結果の概要】

Table with 10 columns: 種目, 男子, 女子, 大阪平均, 全国平均

男子の体力合計点は52.79%と大阪市平均、全国平均よりも高い結果となっており、女子の体力合計点は53.13%と大阪市平均より高く、全国平均とほぼ変わらない結果となっている。中でも「上体起こし」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」の5種目で大阪市平均、全国平均よりも高い結果となっている。1週間の総運動時間が60分未満の児童は、男子が約11.1%、女子が約14.9%となっている。男女ともに、大阪市平均より少ないものの全国平均と比べると高い結果となっている。

【これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題】

体力テストに向けた取り組みや「かけあし週間」「かけあし大会」「大なわ大会」を学期に1回は実施したことにより、児童の運動に対する興味・関心は高くなってきている。特に、4月に行った体力テストに向けた「体力アップ運動チャレンジ」も効果があった。運動委員会が中心となって「反復横跳び」や「立ち幅跳び」の基本的な動きに慣れたり、「20m走」や「30秒登り棒につかまる」の取り組みで、楽しみながら体を動かしている児童が多く見られた。また、「かけあし大会」に向けた「かけあし週間」、体育の持久走の取り組み、「大なわ大会」に向けた練習等を通して自主的に体を動かす児童が増えたり、目標をもって体力向上に取り組んだ児童が増えたのではないかと考える。高学年になればなるほど休み時間に外に出て体を動かす児童が少なくなる傾向にあるが、体を動かしたいと思えるような取り組みの実施、声掛けをしていくことが今後の課題である。

【主体的に学ぶ子(知)】

鳴野小学校では、国語科の研究に取り組み3年目になります。これまでの研究を生かして言葉を大切に、授業の様々な場面において積極的に「交流活動」を取り入れながら学び合い、高め合いながら、基礎・基本の定着を図っていきます。その他の教科の学習にも、「交流活動」を多く取り入れ、児童の主体性を高めながら、学習活動を行っています。学年発表会や学習発表会、作品展等では、学習したことを表現し発表する場となっています。今年度は2月に作品展を予定しております。



【みんなで仲良く助け合う子(徳)】

鳴野小学校の児童会活動は、全校児童を45班の「ファミリー」と呼ばれるたてわり班に分けて、他学年と交流をしています。毎週木曜日の児童集会で一緒にゲームを楽しんだり、春の「大阪城オリエンテーリング」で一緒に回ったりしながら、他学年との絆を深めています。入学を祝う会や卒業を祝う会などの児童会行事を、各委員会の代表を中心とした「代表委員会」が企画、準備、進行しています。また、「ピア・サポート」を取り入れた学級や学年、異学年集団の育成に取り組んでいます。

【健やかな体をつくろうとする子(体)】

また、全校行事として、「なわとび週間」や「かけ足週間」を行っています。「なわとび週間」では、新しい技に挑戦したり、記録をのぼしたりして、意欲的に取り組んでいます。「かけ足週間」では、決められた時間の中を最後まで走り続けることを目標として、全校児童でかけ足をする時間を設けています11月には「かけ足大会」も開かれています。その他にもハッピーフェスティバルやドッジボール大会など年間を通じて楽しみながら運動に親しむ活動を行っています。



【地域との活動】

登下校の際には、地域の方々による「見守り隊」が児童の安全を見守ってくれています。地域の取り組みで、毎週水曜日と土曜日に「鼓笛隊」の練習があり、児童がトランペットや太鼓、鍵盤ハーモニカなどの楽器の練習をしています。練習した成果を「城東区民祭り」、「敬老会」その他様々な行事で発揮します。地域で催される盆踊りや町民大運動会も子どもたちが楽しみにしている行事です。また、冬に行われる、地域の方と1年生との昔遊びも恒例の行事です。

学校案内図 (14ページもあわせてご覧ください)



鳴野小学校